

重要課題取り組みの評価は

住民の判断に委ねる



いけうち ひろみち 池内 弘道 議員

問 平成22年4月に町長に就任して以来、公約実現のため日々精力的に町政運営に取り組んでこられたと思うが、これまでの重要課題の取り組みをどう評価しているか。防災対策、産業振興、福祉対策、社会資本整備の推進について問う。

答 大西町長

防災対策について、喫緊の課題と捉え全力で進めている南海地震対策は膨大なハード整備だけでなく、議会と執行

部が一丸となり、かつ官民共同で取り組んできたこと認識している。町内で開いたワークショップは300回を数え、参加人数は当町の総人口をはるかに上回り、あきらめかけた心境からしっかりと南海地震に向き合っていたいただいた住民の皆様には敬意と感謝を申し上げたい。しかし、防災対策にはゴールはありえず、永続的な取り組みが必要である。あわせて、火災予防や交通安全と多岐にわたる防災業務にしっかりと取り組む必要がある。総括としての評価は別として手法としてこうあるべきであったと確信している。

産業振興について、就任以来一貫して既存の経営体への的確な支援と新たな産業の創出という考えで進めてきたが、既存の産業への支援は厳

しい環境を打破するに到底いたっておらず施策の精度向上に努め、これまで以上の現状認識と対話が必要である。新たな産業の創出についても、環境の変化や社会のニーズに対応した福祉分野と、新産業創造事業を始め地場産業の育成と外資戦略を核に考えてきた。特に重視したのは、産業としての自立と継続性であり、プロジェクトの絞り込みに時間を要したが考えつくした上でこの事業を選択した。これらについても評価の段階ではない。

将来あるべき当町の福祉の姿は、これまでの取り組みを強化しつつ別次元での取り組みも必要と考え、あつたかふれあいセンターを核とした全町包括的な福祉ネットワークの構築を主軸に取り組んできた。しかし、効果が発現できるには、もう少し時間を要する。私自身がもう少し、ボランティアの皆さまとの連携を密にとるべきであったと反省している。

社会資本整備について、防

町長選

来期に臨む 決意は

課題解決に 職責担う

災インフラ整備はもとより、国道56号大方改良とそれに伴う庁舎移転、高規格道路の延伸に伴うインフラ整備ならびに遅れている中山間の生活環境整備など適切に実施している途中にある。事業実施時のみならず、財政的に、未整備地域の方々に対して、もっと丁寧な説明責任を果たすべきと反省している。

答 大西町長

問 自己の評価を踏まえ、これから解決しなければならぬ課題が山積している状況にあるが、再度、町政運営に臨む決意があるか問う。

黒潮町の抱える課題解決に向け、再度ご支持をいただければ、引き続きこの職責を担わせていただきたい。まずは、いただいた任期を精一杯努力し職責を果たしたい。



延伸する高規格道路 (市野瀬)